

統計

平成25年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入、搬出状況

Statistics of outpatients in the emergency room of Sunagawa city medical center

川端 祥子
Sachiko Kawabata

小柳 貴敬
Takayuki Koyanagi

為国 泰朗
Yasuo Tamekuni

朝日 紀博
Norihito Asahi

要 旨

当院における平成25年の時間外受診者状況と救急車による患者搬入状況及び搬出状況について集計を行ったので報告する。

Key words: Statistics, Outpatients, Emergency

はじめに

当院は、昭和15年の開院以来、幾多の困難を乗り越え中空知地域の基幹病院として地域センター病院、災害拠点病院、地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センターなど数多くの指定を受けるに至っている。

平成22年10月に新本館を開院、翌年10月には南館を開院させ、地域住民が安心して受診できる施設整備と診療体制を構築してきた。

また、当地域に不足していた救急医療体制も整備を図り、平成23年12月には地域救命救急センターの指定を受け、平成25年12月には更なる重症患者の救命率向上を図ることを目的にドクターカーの運行を開始したところである。

このような状況のなか、平成25年の当院における時間外受診者の状況等について報告する。

調査方法

期間：平成25年1月1日から平成25年12月31日までの1年間

対象：時間外受診者、救急車等による搬入者及び搬出者

方法：当直日誌、傷病者調書（救急車専用）及び救急車依頼簿等より集計

調査内容

1) 平成25年 月別及び科別時間外受診者数（休日の

受診者再掲）（表1）

2) 平成25年 月別及び科別時間外入院者数（休日の入院者再掲）（表2）

※休日の受診者とは、土曜、日曜、祝祭日の午前8時30分より翌日の午前8時30分までに受診した数である。

3) 平成25年 月別及び地域別時間外受診者数（表3）

4) 平成25年 救急車による科別搬入状況（表4）

5) 平成25年 ドクターヘリによる科別搬入状況（表5）

6) 平成25年 ドクターカーによる科別搬入（要請）状況（表6）

7) 平成25年 救急車による搬出状況（表7）

※救急車・ドクターヘリによる搬入状況及び搬出状況は、時間外に限らず1年間に搬入・搬出された件数である。

考 察

表1については、時間外総受診者数の91.4%を救急科が占めており、次いで産婦人科3.4%、小児科1.1%と続いている。その受診理由については様々であるが、救急科は「交通外傷」「転倒などによる骨折」「呼吸器系疾患」、産婦人科は「出産」、小児科は「乳幼児期の発熱」「喘息発作」での受診が多いようである。

また、平成25年の1年間の日数365日のうち150日（41.1%）が休日であり、その休日に全時間外受診者のうち49.0%が受診している。

時間外に受診する理由については様々であるが、時間外診療に対する患者意識の変化やニーズの多様化により、救急外来における医師・看護師・更にはメディカルスタッフの役割も多様化しており、その対応についても重要性を増している。

表2については、産婦人科、救急科の入院患者が多く、合わせて全体の96.1%を占めている。

入院理由については、産婦人科は「出産」による入院、救急科は「交通外傷」「転倒などによる骨折」「循環器系疾患」「呼吸器系疾患」による入院が目立つ。

また、全時間外入院者のうち41.2%が休日に入院している。

表3については、砂川市内の受診者は34.9%、他市町村からの受診者が65.1%を占めている。更に、近年、近隣市町村以外のその他の地域からの受診者が増加しており、より広範囲な地域から患者を受入れている傾向が見られる。これらのことから地域救命救急センターとしての責務を果たすうえで極めて重要な位置付けとなっている。

表4については、救急科が全体の51.1%を占めている。搬入理由については、「交通外傷」「転倒などによる骨折」によるものが目立つ。

表5については、ドクターヘリによる搬入は20件であった。

表6については、重症患者の救命率向上を図ることを目的にドクターカーの運行を開始（平成25年12月）し搬入（要請）は3件であった。

表7については、救急科、内科、小児科を中心に46件の搬出があった。

おわりに

時間外・休日・深夜といった診療時間外における受診者数はその年によって増減はあるものの、「地域センター病院」として中空知医療圏から数多くの時間外受診者を受け入れてきた。

これからは、「地域救命救急センター」として中空知医療圏からの時間外受診者はもとより、医療圏外からの時間外受診者数も増加していくと考えられる。更には、患者のニーズも多種多様化してきており、これらのことを踏まえたうえで、今後においても集計を続け報告をしていきたい。

表1 平成25年 月別及び科別時間外受診者数

	内科	精神科	神経内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	計
1月	4	1	0	3	13	1	7	2	1	0	0	1	3	38	3	5	0	0	1046	1128
	3	0	0	3	13	1	5	2	1	0	0	0	3	17	1	4	0	0	573	626
2月	5	0	0	2	2	3	3	3	2	0	0	0	2	7	5	4	0	0	722	760
	3	0	0	0	0	2	2	3	2	0	0	0	2	4	3	3	0	0	446	470
3月	5	3	0	2	4	1	5	0	3	0	0	0	1	32	4	4	0	0	643	707
	2	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	253	273
4月	2	3	0	1	8	0	3	2	1	0	0	1	1	28	0	1	0	0	565	616
	2	3	0	1	7	0	3	2	1	0	0	0	1	12	0	0	0	0	342	374
5月	2	2	0	2	12	3	2	4	1	0	0	2	4	33	9	2	0	0	815	893
	2	2	0	1	9	2	1	2	0	0	0	2	2	19	7	2	0	0	487	538
6月	5	1	0	2	19	1	7	2	2	0	1	3	0	29	5	1	0	0	771	849
	4	1	0	0	16	1	1	2	0	0	0	1	0	7	3	0	0	0	284	320
7月	5	2	0	4	7	1	8	8	2	0	0	3	0	24	4	4	0	0	689	761
	2	1	0	2	7	1	5	6	0	0	0	1	0	8	2	3	0	0	297	335
8月	5	1	0	1	11	3	2	4	3	0	0	2	4	37	9	2	0	0	799	883
	2	1	0	1	8	2	1	2	1	0	0	2	0	15	6	2	0	0	349	392
9月	10	4	0	0	9	0	6	5	3	0	0	1	5	25	4	3	0	0	800	875
	7	1	0	0	7	0	2	5	2	0	0	1	1	12	2	1	0	0	425	466
10月	7	2	0	1	10	0	10	1	3	0	0	2	2	33	1	3	0	0	647	722
	1	1	0	0	8	0	5	0	0	0	0	1	2	13	0	1	0	0	258	290
11月	7	1	0	0	3	4	4	2	1	0	0	1	5	21	1	4	0	0	645	699
	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	3	6	1	3	0	0	306	327
12月	15	0	0	5	9	0	11	3	3	0	0	3	2	29	4	3	0	0	770	857
	7	0	0	2	5	0	3	0	2	0	0	1	0	9	1	2	0	0	333	365
計	72	20	0	23	107	17	68	36	25	0	1	19	29	336	49	36	0	0	8912	9750
	38	11	0	11	83	11	30	25	10	0	0	9	14	134	26	21	0	0	4353	4776
平均	6.0	1.7	0.0	1.9	8.9	1.4	5.7	3.0	2.1	0.0	0.1	1.6	2.4	28.0	4.1	3.0	0.0	0.0	742.7	812.5
	3.2	0.9	0.0	0.9	6.9	0.9	2.5	2.1	0.8	0.0	0.0	0.8	1.2	11.2	2.2	1.8	0.0	0.0	362.8	398.0
総件数に占める割合(%)	0.7%	0.2%	0.0%	0.2%	1.1%	0.2%	0.7%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	3.4%	0.5%	0.4%	0.0%	0.0%	91.4%	100.0%
	0.8%	0.2%	0.0%	0.2%	1.7%	0.2%	0.6%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	2.8%	0.5%	0.4%	0.0%	0.0%	91.1%	100.0%

* 上段の数：時間外総受診者数（入院＋外来）
 * 下段の数：時間外受診者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の受診者数

表2 平成25年 月別及び科別時間外入院者数

	内科	精神科	神経内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	計
1月	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	32	0	0	0	0	141	180
	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	75	95
2月	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	117	122
	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	57	60
3月	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	2	0	0	111	145
	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	39	50
4月	0	2	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	21	0	0	0	0	97	125
	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	48	60
5月	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	126	153
	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	62	76
6月	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	112	134
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	34	39
7月	1	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	21	0	0	0	0	95	122
	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	41	49
8月	3	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	26	0	0	0	0	110	143
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	20	31
9月	3	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	132	161
	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	66	78
10月	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	25	0	0	0	0	109	136
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	36	47
11月	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	20	0	1	0	0	116	140
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	59	66
12月	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	22	0	0	0	0	146	172
	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	55	63
計	15	7	0	10	10	6	5	0	6	0	0	0	4	253	2	3	0	0	1412	1733
	5	4	0	4	5	1	4	0	3	0	0	0	3	91	1	1	0	0	592	714
平均	1.3	0.6	0.0	0.8	0.8	0.5	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	21.1	0.2	0.3	0.0	0.0	117.7	144.4
	0.4	0.3	0.0	0.3	0.4	0.1	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	7.6	0.1	0.1	0.0	0.0	49.3	59.5
総件数に占める割合(%)	0.9%	0.4%	0.0%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	14.6%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	81.5%	100.0%
	0.7%	0.6%	0.0%	0.6%	0.7%	0.1%	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	12.7%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	82.9%	100.0%

* 上段の数：時間外入院者数
 * 下段の数：時間外入院者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の入院者数

表3 平成25年 月別及び地域別時間外受診者数

	砂川	上砂川	歌志内	奈井江	新十津川	芦別	赤平	浦臼	滝川	雨竜	美唄	その他	合計
1月	417	96	99	85	60	31	45	26	103	6	66	94	1128
2月	301	80	44	65	40	33	27	14	70	3	33	50	760
3月	261	57	49	61	32	23	29	14	68	5	52	56	707
4月	218	49	36	56	36	28	26	16	72	5	33	41	616
5月	286	71	68	73	45	31	49	29	125	3	55	58	893
6月	310	78	34	90	51	17	34	32	96	3	49	55	849
7月	267	61	52	80	34	13	35	17	96	5	37	64	761
8月	259	67	76	74	47	27	50	27	132	5	54	65	883
9月	276	81	58	69	66	37	36	26	112	2	55	57	875
10月	263	66	48	68	50	16	28	20	76	2	41	44	722
11月	251	50	41	67	41	22	44	15	91	3	29	45	699
12月	291	57	67	73	54	31	28	21	105	6	47	77	857
合計	3,400	813	672	861	556	309	431	257	1,146	48	551	706	9,750
月平均	283.3	67.8	56.0	71.8	46.3	25.8	35.9	21.4	95.5	4.0	45.9	58.8	812.5
割合	34.9%	8.3%	6.9%	8.8%	5.7%	3.2%	4.4%	2.6%	11.8%	0.5%	5.7%	7.2%	100.0%

表4 平成25年 救急車による搬入状況

区分	内科	精神科	神経内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	合計
1月	41	3		19	2	5	17		22		1		6	1		1			131	249
2月	23	4		14	2	5	14	2	20		4		8		1	3			90	190
3月	25	3		19		10	13		17		2	2	3	2	1	2			119	218
4月	27	6		12		4	13	1	15		5		1	2		1			82	169
5月	23	2		14	2	7	12	2	27		2		7	4		4			91	197
6月	28	3		19	2	3	10	2	18		3		5	1		4			126	224
7月	32	8		16	2	5	11	1	10		3		2	2		2			105	199
8月	42	3		16	1	4	14	3	14		3		2	2		1			128	233
9月	28	2		17	1	4	15	3	20		5		2	1		4			106	208
10月	24	3		12	3	4	13		28		6		3	1		1			81	179
11月	29	3		11		7	13		23		2	1	4	2		2	1		99	197
12月	45	6		25		3	15	1	21		6	1	1			4			128	256
合計	367	46	0	194	15	61	160	15	235	0	42	4	44	18	2	29	1	0	1,286	2,519
月平均	30.6	3.8	0.0	16.2	1.3	5.1	13.3	1.3	19.6	0.0	3.5	0.3	3.7	1.5	0.2	2.4	0.1	0.0	107.2	209.9
割合	14.6%	1.8%	0.0%	7.7%	0.6%	2.4%	6.4%	0.6%	9.3%	0.0%	1.7%	0.2%	1.7%	0.7%	0.1%	1.2%	0.0%	0.0%	51.1%	100.0%

表5 平成25年 ドクターヘリによる搬入状況

区分	件数	出動ヘリ	要請者	受入れ診療科	備考
1月	0				
2月	2	旭川赤十字病院	上川消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	上砂川消防	救急科	
3月	2	旭川赤十字病院	沼田消防	救急科	
		旭川赤十字病院	深川消防	救急科	
4月	0				
5月	3	旭川赤十字病院	芦別消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	芦別消防	救急科	
		旭川赤十字病院	沼田消防	救急科	
6月	3	旭川赤十字病院	沼田消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	深川消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	新十津川消防	救急科	
7月	3	旭川赤十字病院	沼田消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	芦別消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	滝川消防	救急科	
8月	0				
9月	3	旭川赤十字病院	増毛消防	救急科	
		旭川赤十字病院	芦別消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	美唄消防	救急科	
10月	4	旭川赤十字病院	深川消防	救急科	
		旭川赤十字病院	増毛消防	救急科	
		旭川赤十字病院	芦別消防	救急科	
		手稲溪仁会病院	芦別消防	救急科	
11月	0				
12月	0				
合計	20				

表6 平成25年 ドクターカーによる搬入（要請）状況

区分	件数	要請者	要請分類	受入れ診療科	備考
12月	3	滝川消防	交通事故	救急科	
		滝川消防	交通事故	救急科	
		砂川消防	雪害	救急科	
合計	3				

*ドクターカーは、平成25年12月より運行開始

表7 平成25年 救急車による搬出状況

搬出先	科別	件数	備考
札幌医科大学附属病院	外	1	
札幌琴似ロイヤル病院	内	1	
札幌山鼻病院	外	1	
	救	1	
市立札幌病院	小	1	
	産	1	
	救	1	
手稲溪仁会病院	外	1	
	救	1	
平成会病院（札幌市）	循	1	
	麻	1	
北海道子ども総合医療養育センター	小	2	
北海道社会保険病院	産	1	
北海道大学病院	内	2	
	循	1	
	麻	1	
イムス札幌消化器中央総合病院	内	2	
札幌厚生病院	内	1	
札幌共立五輪橋病院	内	1	
天使病院（札幌市）	小	1	
中村記念病院	精	1	
旭川医科大学病院	小	1	
	救	1	
旭川厚生病院	産	2	
北海道中央労災（岩見沢市）	救	1	
北海道中央労災病院せき損センター	心	2	
	救	5	
市立美唄病院	内	2	
奈井江町立国民健康保険病院	救	1	
滝川市立病院	内	1	
	外	1	
	心	1	
	麻	1	
	救	2	
滝川中央病院	救	1	
合計		46	

統計

過去5年間の砂川市立病院事業収支状況

Report of economic status in the Sunagawa City Medical Center for last 5 years

塚本 朝生 阿部 雅和
Tomoo Tsukamoto Masakazu Abe

要 旨

当院における過去5年間の病院事業収支を報告する。

1. 病院経営状況

(1) 収益的収支（3条）

（単位：円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収 入	病院事業収益	9,788,419,673	10,316,074,307	10,968,588,842	11,572,046,204	11,719,645,597
	医業収益	9,020,323,544	9,405,524,679	9,961,141,331	10,356,196,975	10,483,491,677
	医業外収益	668,723,552	814,964,423	908,540,318	1,109,973,598	1,128,262,206
	看護専門学校収益	97,884,064	93,853,462	94,702,382	94,638,078	93,128,367
	院内保育事業収益	—	—	—	7,032,300	10,830,600
	特別利益	1,488,513	1,731,743	4,204,811	4,205,253	3,932,747
支 出	病院事業費用	9,742,701,173	11,667,997,116	12,426,929,223	12,044,785,602	12,414,510,833
	医業費用	9,599,559,341	10,260,259,893	11,469,519,126	11,763,735,414	12,090,650,746
	医業外費用	41,065,575	103,823,858	146,758,711	152,589,864	148,832,979
	看護専門学校費用	98,091,122	96,935,243	102,787,052	102,884,446	101,658,242
	院内保育事業費用	—	—	—	15,605,031	17,760,324
	特別損失	3,985,135	1,206,978,122	707,864,334	9,970,847	55,608,542
純利益	45,718,500	△ 1,351,922,809	△ 1,458,340,381	△ 472,739,398	△ 694,865,236	
経常利益	48,215,122	△ 146,676,430	△ 754,680,858	△ 466,973,804	△ 643,189,441	

(2) 資本的収支（4条）

(単位：円)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収 入	資本的収入	4,367,368,620	10,388,745,600	2,801,156,600	1,042,126,600	939,033,600
	企業債	3,797,800,000	9,833,900,000	2,308,600,000	567,800,000	557,100,000
	投資償還金	8,792,620	11,431,600	12,691,600	8,102,600	9,830,600
	補助金	433,190,000	417,708,000	429,677,000	280,278,000	105,202,000
	出資金	125,266,000	103,276,000	44,569,000	182,006,000	264,571,000
	寄附金	2,320,000	22,430,000	5,619,000	3,940,000	2,330,000
支 出	資本的支出	4,700,696,768	11,414,477,435	3,240,930,122	1,645,079,312	1,485,930,149
	建設改良費	4,250,409,325	10,645,165,064	2,786,304,802	917,988,510	680,282,559
	企業債償還金	439,523,443	761,170,371	444,827,320	717,706,802	793,848,590
	投資	10,764,000	8,142,000	9,798,000	9,384,000	11,799,000
収支差		△ 333,328,148	△ 1,025,731,835	△ 439,773,522	△ 602,952,712	△ 546,896,549
補 填 財 源	当年度調整額	4,653,725	12,782,364	3,582,793	1,220,427	904,971
	過年度留保資金	328,674,423	1,010,649,471	436,190,729	601,732,285	545,991,578
	繰越利益剰余金処分額	-	2,300,000	-	-	-

(3) 収益的収支比率

(単位：%)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総収支比率	100.5	88.4	88.3	96.1	94.4
経常収支比率	100.5	98.6	93.6	96.1	94.8
医業収支比率	94.0	91.7	86.8	88.0	86.7

(4) 人件費比率（医業収益対職員給与費）

(単位：%/円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
人件費比率	58.9	58.9	57.9	58.0	58.0
給与費	5,313,750,733	5,543,447,713	5,769,193,553	6,003,345,104	6,081,682,893

(5) 企業債の状況

(単位：円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
前年度末残高	2,118,159,245	5,476,435,802	14,549,165,431	16,412,938,111	16,263,031,309
当年度借入額	3,797,800,000	9,833,900,000	2,308,600,000	567,800,000	557,100,000
当年度償還額	439,523,443	761,170,371	444,827,320	717,706,802	793,848,590
当年度残高	5,476,435,802	14,549,165,431	16,412,938,111	16,263,031,309	16,026,282,719

2. 業 務 量

(1) 患者数

(単位：人/日)

	2 1 年度		2 2 年度		2 3 年度		2 4 年度		2 5 年度			
	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均		
入	内 科	26,354	72.2	30,378	83.2	31,083	84.9	32,212	88.3	34,582	94.7	
	精 神 科	29,103	79.7	26,326	72.1	25,639	70.1	25,081	68.7	21,549	59.0	
	神 經 内 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	循 環 器 内 科	8,345	22.9	8,923	24.4	12,119	33.1	11,773	32.3	11,583	31.7	
	小 児 科	2,961	8.1	2,651	7.3	2,699	7.4	1,746	4.8	1,896	5.2	
	外 科	11,163	30.6	10,138	27.8	10,892	29.8	10,782	29.5	8,991	24.6	
	整 形 外 科	16,689	45.7	16,975	46.5	17,220	47.0	19,021	52.1	16,819	46.1	
	形 成 外 科	1,525	4.2	3,038	8.3	3,775	10.3	3,203	8.8	2,380	6.5	
	脳 神 經 外 科	9,728	26.7	9,682	26.5	9,331	25.5	9,876	27.1	11,554	31.7	
	呼 吸 器 外 科	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	心 臓 血 管 外 科	5,279	14.5	4,899	13.4	4,690	12.8	4,076	11.2	4,650	12.7	
	皮 膚 科	587	1.6	864	2.4	1,066	2.9	999	2.7	1,015	2.8	
	泌 尿 器 科	8,700	23.8	8,200	22.5	8,310	22.7	6,959	19.1	6,821	18.7	
	産 婦 人 科	9,685	26.5	9,151	25.1	9,415	25.7	8,925	24.5	9,345	25.6	
	眼 科	1,033	2.8	955	2.6	933	2.5	974	2.7	830	2.3	
	耳 鼻 咽 喉 科	3,817	10.5	3,072	8.4	2,881	7.9	3,985	10.9	2,825	7.7	
	放 射 線 科	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	院	放 射 線 診 断 科	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		放 射 線 治 療 科	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		麻 醉 科	150	0.4	468	1.3	443	1.2	391	1.1	94	0.3
救 急 科		-	-	918	2.5	3,247	8.9	3,828	10.5	3,899	10.7	
合 計		135,119	370.2	136,638	374.4	143,743	392.7	143,831	394.1	138,833	380.4	
診 療 実 日 数			365		365		366		365		365	
外		内 科	44,953	185.0	42,007	174.3	41,088	167.7	41,654	170.0	44,508	181.7
	精 神 科	23,815	98.0	23,052	95.7	23,033	94.0	23,391	95.5	23,501	95.9	
	神 經 内 科	1,824	7.5	1,745	7.2	1,963	8.0	2,003	8.2	2,200	9.0	
	循 環 器 内 科	20,023	82.4	20,296	84.2	22,512	91.9	25,981	106.0	26,867	109.7	
	小 児 科	15,735	64.8	15,041	62.4	14,587	59.5	13,216	53.9	13,348	54.5	
	外 科	7,989	32.9	7,573	31.4	7,883	32.2	7,881	32.2	7,694	31.4	
	整 形 外 科	37,838	155.7	38,287	158.9	38,194	155.9	40,199	164.1	40,008	163.3	
	形 成 外 科	6,166	25.4	6,165	25.6	5,693	23.2	5,958	24.3	6,129	25.0	
	脳 神 經 外 科	6,190	25.5	6,264	26.0	5,825	23.8	5,680	23.2	4,443	18.1	
	呼 吸 器 外 科	-	-	5	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	心 臓 血 管 外 科	3,871	15.9	3,642	15.1	3,527	14.4	3,221	13.1	3,129	12.8	
	皮 膚 科	19,445	80.0	20,246	84.0	21,935	89.5	22,255	90.8	22,274	90.9	
	泌 尿 器 科	28,143	115.8	26,651	110.6	26,190	106.9	25,248	103.1	25,256	103.1	
	産 婦 人 科	15,967	65.7	15,897	66.0	14,381	58.7	14,104	57.6	14,179	57.9	
	眼 科	12,380	50.9	12,704	52.7	12,303	50.2	11,453	46.7	11,116	45.4	
	耳 鼻 咽 喉 科	11,259	46.3	11,250	46.7	9,870	40.3	9,834	40.1	9,106	37.2	
	放 射 線 科	1,219	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	来	放 射 線 診 断 科	-	-	0	0.0	42	0.2	349	1.4	479	2.0
		放 射 線 治 療 科	-	-	1,442	6.0	1,747	7.1	1,608	6.6	1,566	6.4
		麻 醉 科	524	2.2	636	2.6	381	1.6	402	1.6	453	1.8
救 急 科		-	-	3,053	12.7	7,780	31.8	8,330	34.0	8,427	34.4	
歯 科		-	-	-	-	-	-	-	-	278	1.1	
合 計		257,341	1,059.0	255,956	1,062.1	258,934	1,056.9	262,767	1,072.5	264,961	1,081.5	
診 療 実 日 数			243		241		245		245		245	

(2) 入院・外来患者数と1日平均単価

(単位：人/日/円)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
入院	患者延数	135,119	136,638	143,743	143,831	138,833
	診療実日数	365	365	366	365	365
	一日平均患者数	370.2	374.4	392.7	394.1	380.4
	一日平均単価	47,177	48,652	48,803	51,753	53,749
外来	患者延数	257,341	255,956	258,934	262,767	264,961
	診療実日数	243	241	245	245	245
	一日平均患者数	1,059.0	1,062.1	1,056.9	1,072.5	1,081.5
	一日平均単価	9,700	10,107	10,569	10,283	10,598
入院収益		6,374,568,352	6,647,730,292	7,015,104,946	7,443,743,653	7,462,149,105
外来収益		2,496,215,043	2,586,920,281	2,736,758,904	2,702,010,196	2,808,020,490

(3) 病床利用状況

(単位：床/%/人)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
一般	病床数	408	408	408	408	408
	病床利用率	70.6	73.3	78.2	79.5	78.1
	年延入院患者数	105,162	109,180	116,812	118,385	116,362
	年延病床数	148,920	148,920	149,328	148,920	148,920
精神	病床数	103	103	88	88	88
	病床利用率	77.4	70.0	72.5	78.1	67.1
	年延入院患者数	29,103	26,326	25,639	25,081	21,549
	年延病床数	37,595	37,595	35,358	32,120	32,120
結核	病床数	6	6	6	6	6
	病床利用率	39.0	51.7	58.8	16.7	42.1
	年延入院患者数	854	1,132	1,292	365	922
	年延病床数	2,190	2,190	2,196	2,190	2,190
感染	病床数	4	4	4	4	4
	病床利用率	0	0	0	0	0
	年延入院患者数	0	0	0	0	0
	年延病床数	1,460	1,460	1,464	1,460	1,460
合計	病床数	521	521	506	506	506
	病床利用率	71.1	71.9	76.3	77.9	75.2
	年延入院患者数	135,119	136,638	143,743	143,831	138,833
	年延病床数	190,165	190,165	188,346	184,690	184,690

※23年度精神病床数 10/28～15床減

3. 職員の状況

(1) 部門別職員数

(単位：人)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
医 師	職 員	58	64	67	69	70
	そ の 他	19	18	18	18	19
看 護 師	職 員	371	378	390	402	401
	そ の 他	44	38	38	39	43
医 療 技 術 員	職 員	81	84	87	89	99
	そ の 他	3	5	6	4	6
事 務 員	職 員	38	38	35	39	37
	そ の 他	10	24	30	31	30
労 務 員	職 員	40	37	36	34	33
	そ の 他	54	63	79	74	77
計	職 員	588	601	615	633	640
	そ の 他	130	148	171	166	175
看 護 専 門 校 学 校	職 員	10	9	10	10	10
	そ の 他	1	2	2	2	2
合 計	職 員	598	610	625	643	650
	そ の 他	131	150	173	168	177
総 合 計		729	760	798	811	827

統計

入院患者の満足度調査結果

Satisfaction survey results from inpatients

石田 明美 狩野 真澄 根本 まり子
Akemi Ishida Masumi Karino Mariko Nemoto

要 旨

当院では「地域住民に信頼され、安心・安全な看護サービスを提供する」事を看護部理念とし、患者満足の向上に役立てる事を目的とし、入院患者の満足度調査をアンケート方式により実施している。

平成23年度・平成25年度の結果を比較検討したのでここに報告する。

はじめに

当院では、患者が求める環境や看護サービスを目指すために、入院患者の満足度調査を実施している。

施設・入院環境・看護師をはじめ病院職員の対応などを、アンケート結果を前年度と比較し、評価や満足度を把握した結果を報告する。

I. 調査方法

アンケート用紙による調査。無記名で記入した用紙を封筒に入れ、各病棟に配布実施・回収した。

1 調査期間

平成23年 3月21日～ 3月25日（5日間）
平成25年10月28日～ 11月1日（5日間）

2 倫理的配慮

アンケートは全体としての統計処理を行い、個人の情報として使用するものではないことを説明した。

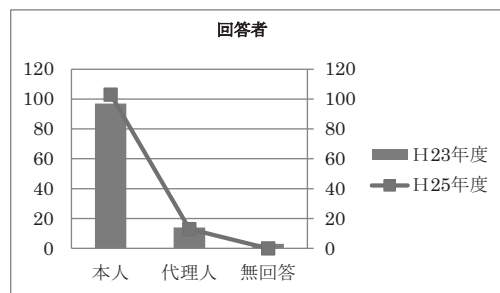
II. 結果（資料参照）

平成23年 アンケート配布数122名
回収114名（回収率93.4%）
平成25年 アンケート配布数123名
回収116名（回収率94.3%）

1 患者満足度調査（平成23年度と平成25年度の比較）

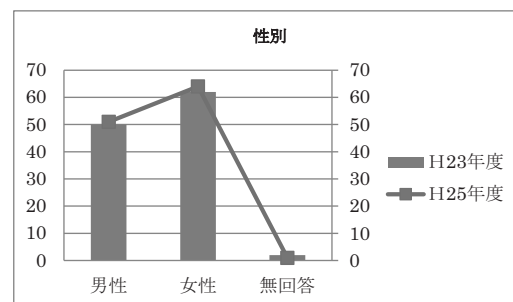
1) アンケート回答者

	H23年度	H25年度
本人	97	103
代理人	14	13
無回答	3	0



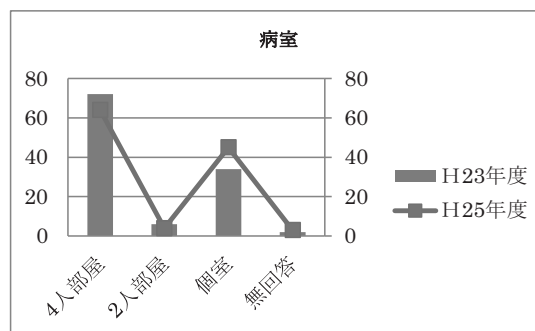
2) 回答者性別

	H23年度	H25年度
男性	50	51
女性	62	64
無回答	2	1



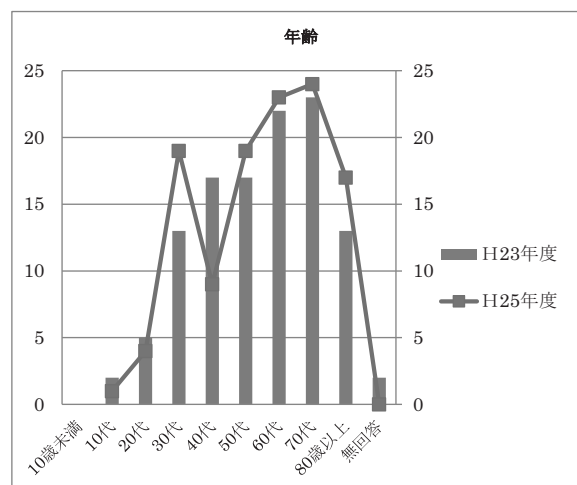
3) 病室

	H23年度	H25年度
4人部屋	72	64
2人部屋	6	4
個室	34	45
無回答	2	3



4) 回答者の年齢

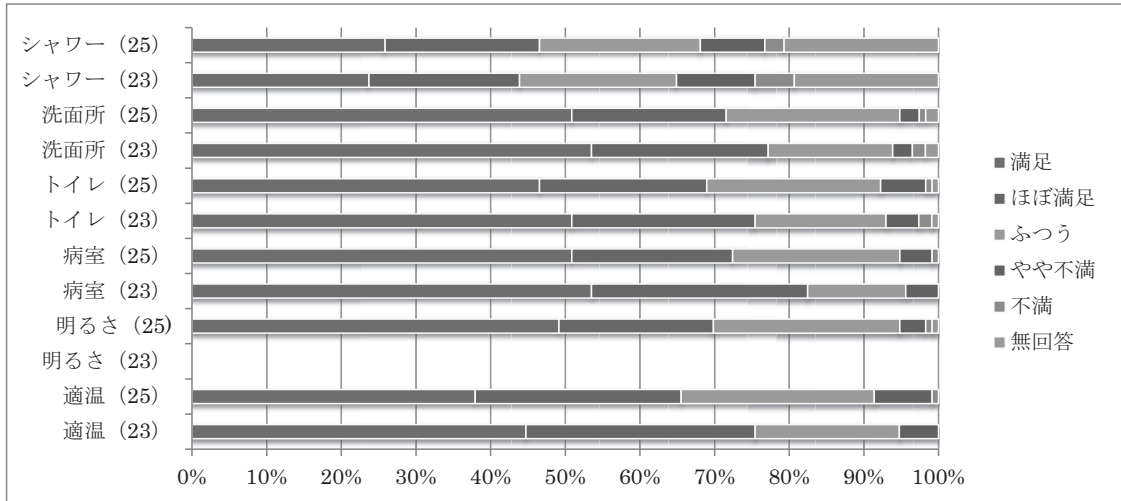
	H23年度	H25年度
10歳未満		
10代	2	1
20代	5	4
30代	13	19
40代	17	9
50代	17	19
60代	22	23
70代	23	24
80歳以上	13	17
無回答	2	0



2 施設・入院環境について

- 1) 病室の設定温度は適温ですか？
- 2) 病室や廊下の明るさは適切ですか？
- 3) 病室の清掃はいきとどいていましたか？
- 4) トイレの清掃はいきとどいていましたか？
- 5) 洗面所の清掃はいきとどいていましたか？
- 6) シャワー浴で満足できましたか？

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
適温 (23)	51	35	22	6	0	0
適温 (25)	44	32	30	9	1	0
明るさ (23)						
明るさ (25)	57	24	29	4	1	1
病室 (23)	61	33	15	5	0	0
病室 (25)	59	25	26	5	1	0
トイレ (23)	58	28	20	5	2	1
トイレ (25)	54	26	27	7	1	1
洗面所 (23)	61	27	19	3	2	2
洗面所 (25)	59	24	27	3	1	2
シャワー (23)	27	23	24	12	6	22
シャワー (25)	30	24	25	10	3	24

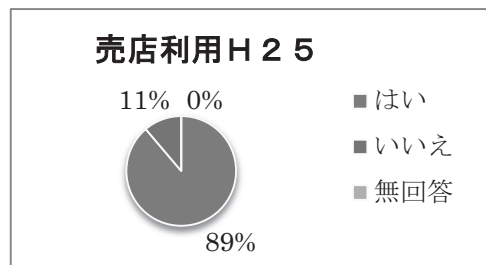
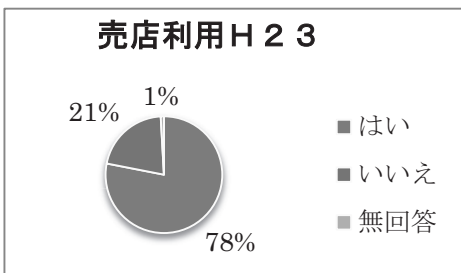


入院環境では、「シャワー」以外は、満足ほぼ満足の合計では65%～70%を示している。シャワーにおいては、満足・ほぼ満足を合わせても50%にならず、原因として、回答者が60~70代が多いことから、習慣上お風呂を好む傾向があるのではないかと、更にシャワー室の狭さなどもあるのではないかと考える。H25度には入院環境として「明るさ」を追加したが、70%は満足・ほぼ満足と言う結果が得られた。

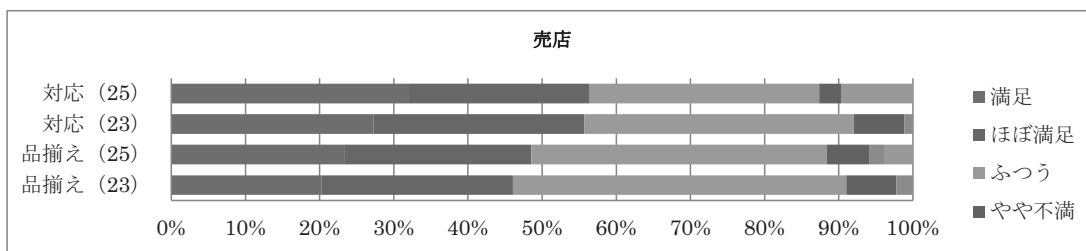
3 売店

- 1) 売店をご利用になりましたか？
- 2) 品揃えはいかがですか？
- 3) 対応は迅速ですか？

売店利用	H23年度	H25年度
はい	89	103
いいえ	24	13
無回答	1	0



	満足 (Satisfied)	ほぼ満足 (Almost satisfied)	ふつう (Average)	やや不満 (Somewhat dissatisfied)	不満 (Dissatisfied)	無回答 (No answer)
品揃え (23)	18	23	40	6	2	
品揃え (25)	24	26	41	6	2	4
対応 (23)	24	25	32	6	1	
対応 (25)	33	25	32	3		10

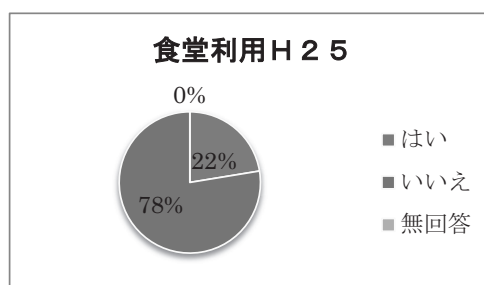
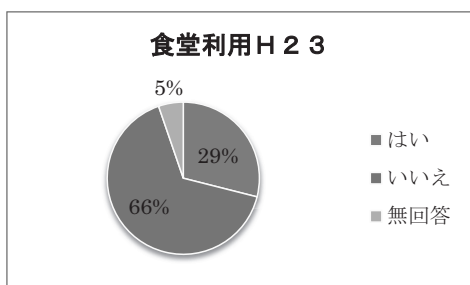


売店の項目では、「対応」については変化なく55%であった。しかし、「品揃え」では、満足、ほぼ満足を合わせても50%以下で品揃えに不足を感じているようである。

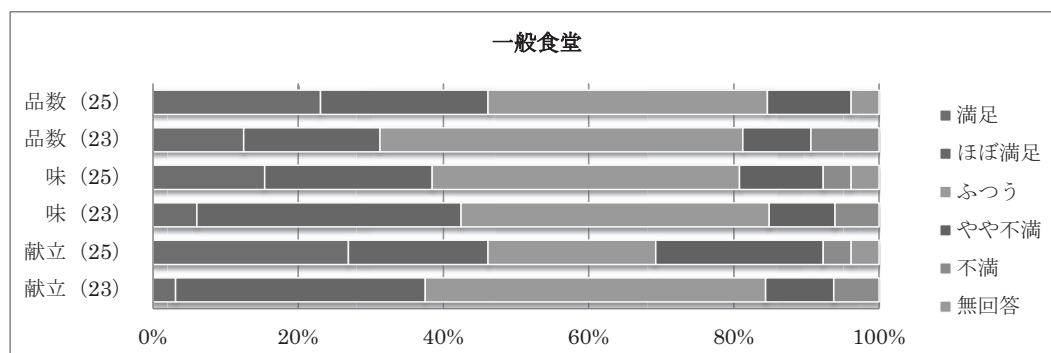
4 一般食堂

- 1) 一般食堂をご利用になりましたか？
- 2) 献立の内容はいかがですか？
- 3) 味はいかがですか？
- 4) 料理の品数はいかがですか？

食堂利用	H23年度	H25年度
はい	33	26
いいえ	75	90
無回答	6	0



	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
献立 (23)	1	11	15	3	2	
献立 (25)	7	5	6	6	1	1
味 (23)	2	12	14	3	2	
味 (25)	4	6	11	3	1	1
品数 (23)	4	6	16	3	3	
品数 (25)	6	6	10	3		1



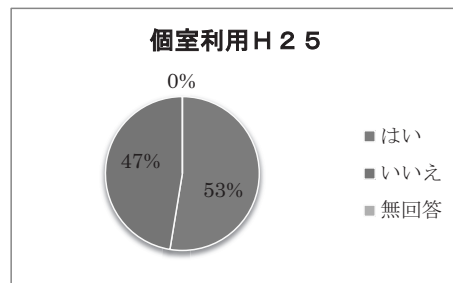
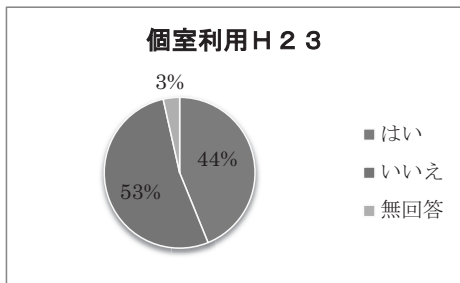
一般食堂については、品数についてはH23年の意見を反映している。

味については、H25年満足が倍になっている。献立については、H25年を見ると満足がふえてはいるが満足、ほぼ満足、ふつうを見るとH25年よりH23年が上回っていることが分かる。

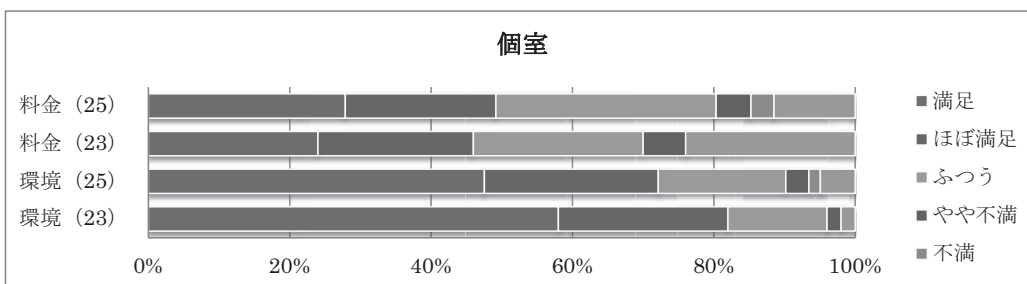
5 個室利用

- 1) 個室をご利用になりましたか？
- 2) 個室の環境に満足されましたか？
- 3) 個室の料金に満足されましたか？

個室利用	H23年度	H25年度
はい	50	61
いいえ	60	55
無回答	4	0



	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
環境 (23)	29	12	7	1		1
環境 (25)	29	15	11	2	1	3
料金 (23)	12	11	12	3		12
料金 (25)	17	13	19	3	2	7

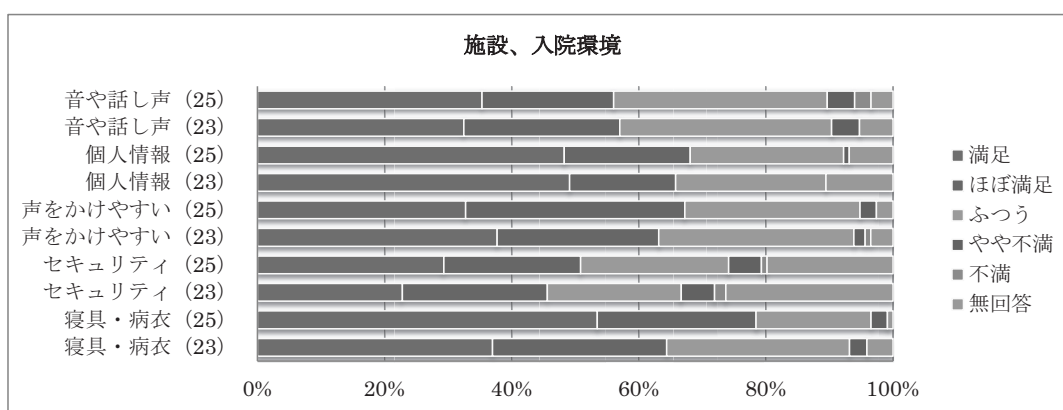


個室の「環境」「料金」は満足度が高いことが分かる。年々入院の個室希望者が増加している。

6 施設・入院環境

- 1) 寝具・病衣は清潔に保たれていましたか？
- 2) セキュリティーカードでの出入りはいかがですか？
- 3) オープンカウンターで、職員に声をかけやすくなりましたか？
- 4) オープンカウンターで、個人の情報は守られていますか？
- 5) オープンカウンターからの音や話し声はいかがですか？

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
寝具・病衣 (23)	27	20	21	2	0	3
寝具・病衣 (25)	62	29	21	3	0	1
セキュリティ (23)	26	26	24	6	2	30
セキュリティ (25)	34	25	27	6	1	23
声をかけやすい (23)	43	29	35	2	1	4
声をかけやすい (25)	38	40	32	3		3
個人情報 (23)	56	19	27	0	0	12
個人情報 (25)	56	23	28	1	0	8
音や話し声 (23)	37	28	38	5	0	6
音や話し声 (25)	41	24	39	5	3	4



全体的にH23年度と大きな変化は見られなかった。セキュリティーカードに関しては、付添いの家族が自由に入出入りできない事などの意見があった。その他の項目については、大きな変化は見られない。

7 入退院について

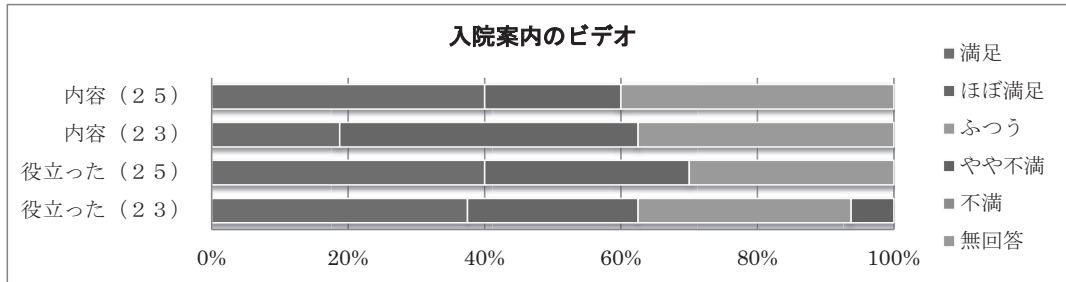
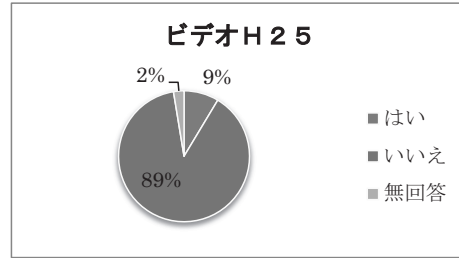
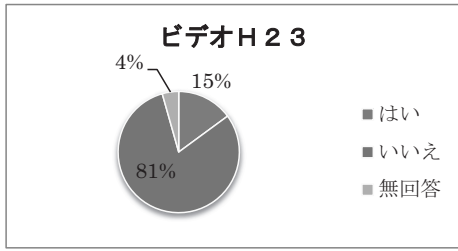
1) 入退院受付での説明はいかがですか？

役立った (23)	6	4	5	1	0
役立った (25)	4	3	3	0	0
内容 (23)	3	7	6		
内容 (25)	4	2	4		

8 入院ビデオについて

- 1) 病室で入退院のビデオをご覧になりましたか？
- 2) 入院生活に役立ちましたか？
- 3) 内容はいかがですか？

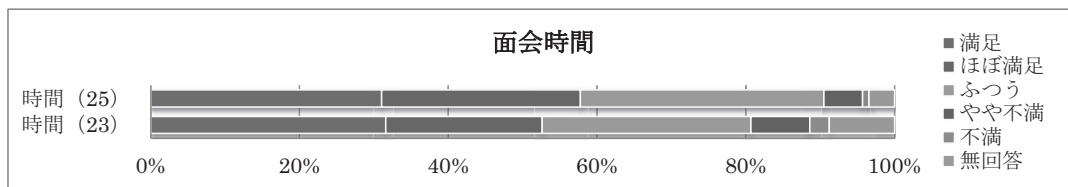
ビデオ	H23年度	H25年度
はい	17	10
いいえ	92	103
無回答	5	3



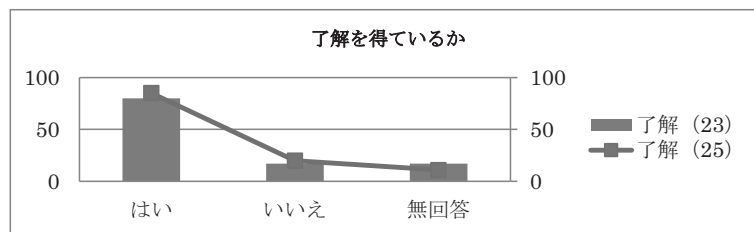
9 面会について

- 1) 面会時間はいかがですか？
- 2) お見舞いの方がいらした場合は、スタッフは了解を得てからご案内していますか

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
時間(23)	36	24	32	9	3	10
時間(25)	36	31	38	6	1	4



	はい	いいえ	無回答
面会・・・了解(23)	80	17	17
面会・・・了解(25)	85	20	11

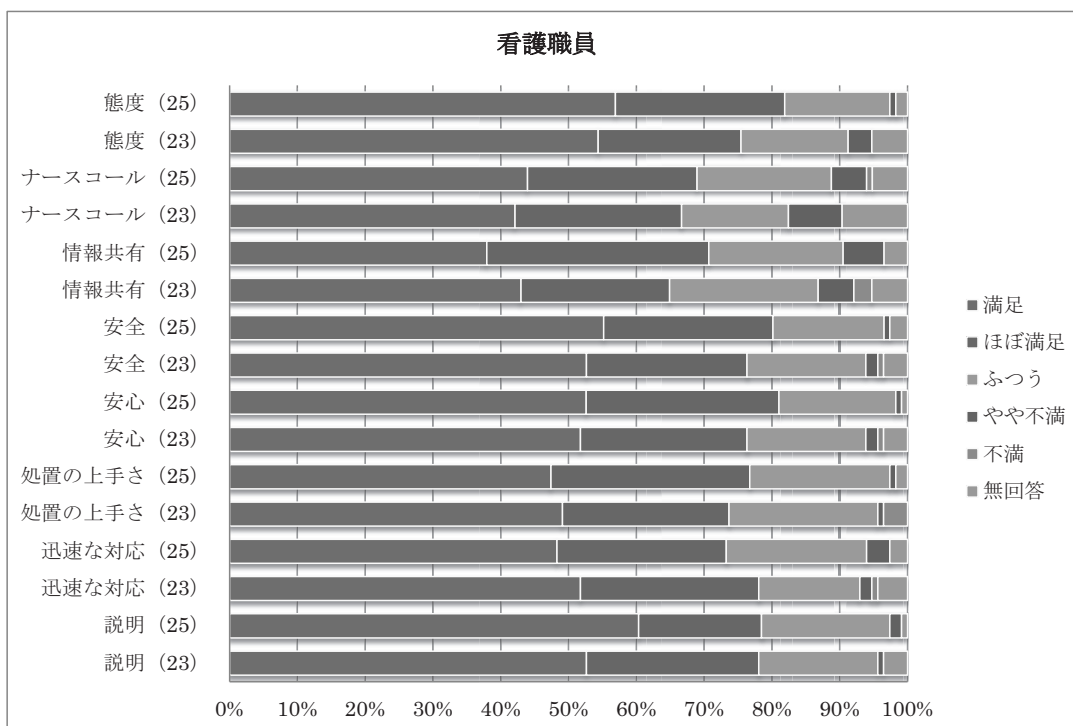


入退院のビデオを見た人は、H23年度では16名（14%）であったが、H25年度はさらに減少し10名（9%）であった。ビデオの「内容」については『満足』と回答した人が約20%上昇している為、入院後落ち着いた段階で見てもらえるよう病棟への協力を得る必要がある。面会に関しては、面会時間外とわかっていても来院している事が多く、遠方から来ている、交通の便がない等の理由で面会を許可している現状である。しかし理由を言ってドアを開けてもらう事がわずらわしいと感じている人や不満に思っている人は減少している。

10 看護職員について

- 1) よくわかる説明をしてれていますか？
- 2) 悩みや相談に迅速に対応してくれていますか？
- 3) 処置の上手さはいかがですか？
- 4) 安心できる関わりでしたか？
- 5) 安全に配慮されていましたか？
- 6) 他の職員と適切に情報が共有されましたか？
- 7) ナースコールを押してから看護師が伺うまでの時間はいかがでしたか？
- 8) 言葉づかい・身だしなみ・態度はいかがでしたか？

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
説明 (23)	60	29	20	1	0	4
説明 (25)	70	21	22	2	0	1
迅速な対応 (23)	59	30	17	2	1	5
迅速な対応 (25)	56	29	24	4	0	3
処置の上手さ (23)	56	28	25	1	4	
処置の上手さ (25)	55	34	24	1	0	2
安心 (23)	59	28	20	2	1	4
安心 (25)	61	33	20	1	0	1
安全 (23)	60	27	20	2	1	4
安全 (25)	64	29	19	1	0	3
情報共有 (23)	49	25	25	6	3	6
情報共有 (25)	44	38	23	7	0	4
ナースコール (23)	48	28	18	9	0	11
ナースコール (25)	51	29	23	6	1	6
態度 (23)	62	24	18	4		6
態度 (25)	66	29	18	1		2

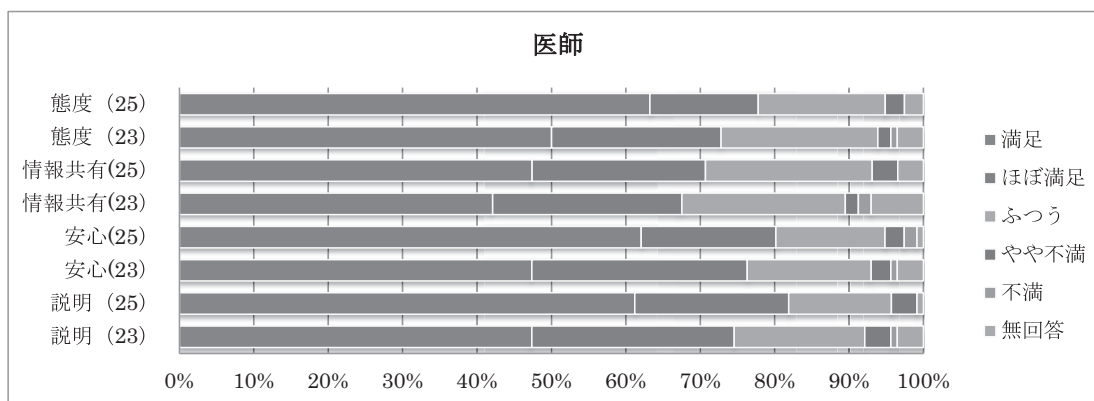


看護職員については、それぞれ満足、ほぼ満足が上昇しているが、中でもナースコール、情報共有では、やや不満、不満を感じている人が1割程度いることが分かる。

11 医師について

- 1) よくわかる説明をしてくれていますか？
- 2) 安心して医療を受ける事が出来ましたか？
- 3) 他の職員と適切に情報が共有されていましたか？
- 4) 言葉づかい、態度、身だしなみはいかがですか？

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
説明 (23)	54	31	20	4	1	4
説明 (25)	71	24	16	4	0	1
安心(23)	54	33	19	3	1	4
安心(25)	72	21	17	3	2	1
情報共有(23)	48	29	25	2	2	8
情報共有(25)	55	27	26	4	0	4
態度 (23)	57	26	24	2	1	4
態度 (25)	74	17	20	3	0	3

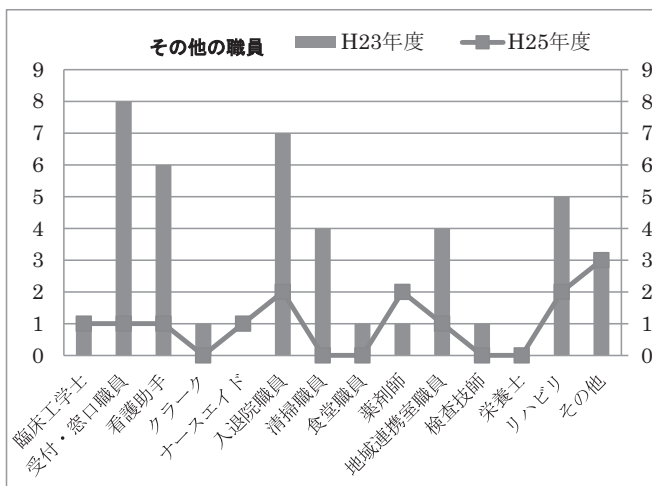


全体の全項目で『満足』が上昇している。

12 その他の職員

- 1) 言葉づかい・態度・身だしなみで気になる職員がいましたら、チェックしてください

	H23年度	H25年度
臨床工学士	1	1
受付・窓口職員	8	1
看護助手	6	1
ク ラ ー ク	1	0
ナースエイド		1
入 退 院 職 員	7	2
清 掃 職 員	4	0
食 堂 職 員	1	0
薬 剤 師	1	2
地域連携室職員	4	1
検 査 技 師	1	0
栄 養 士		0
リ ハ ビ リ	5	2
そ の 他	3	3

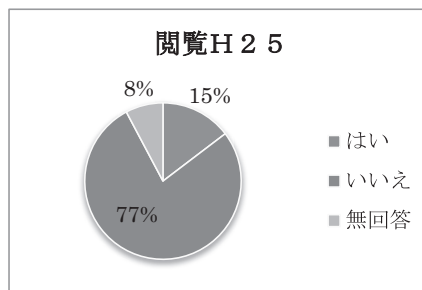
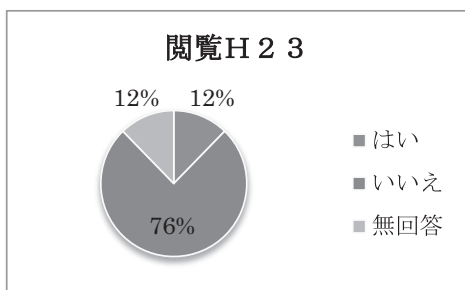


H23年度より明らかに職員接遇が改善されてきていることがわかる。

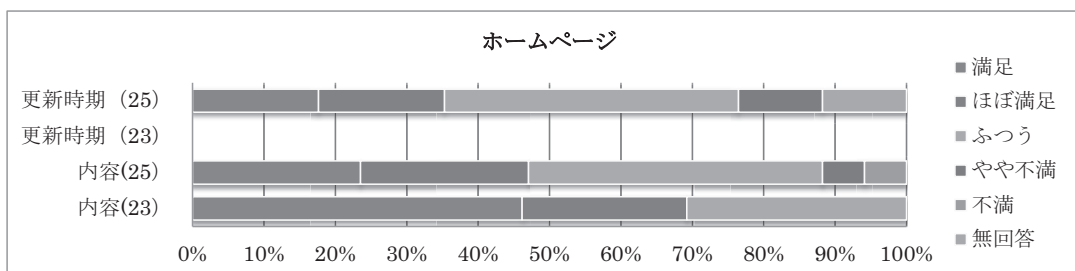
13 ホームページについて

- 1) 当院のホームページをご覧になりましたか？
- 2) 情報提供の内容は十分でしたか？
- 3) 適切な時期に更新されていましたか？

閲覧	H23年度	H25年度
はい	14	17
いいえ	86	90
無回答	14	9



	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
内容(23)	6	3	4			
内容(25)	4	4	7	1	1	
更新時期 (23)						
更新時期 (25)	3	3	7	2		2

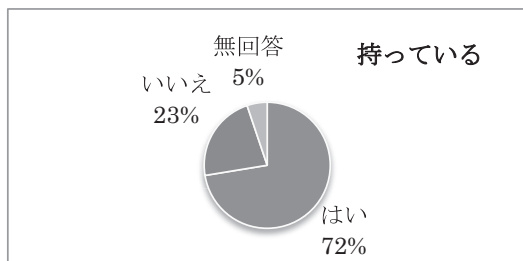


ホームページの内容の満足度が減少している。これはホームページを見ている人が増加した事と、患者が知りたい内容や情報がないことを示していると考え。更新時期についても、今年度から新設した項目であるが、満足度は低い。閲覧する人の関心に目を向けた内容検討など日々更新が必要である。

14 携帯電話について（H25年度より新たに質問に加えた）

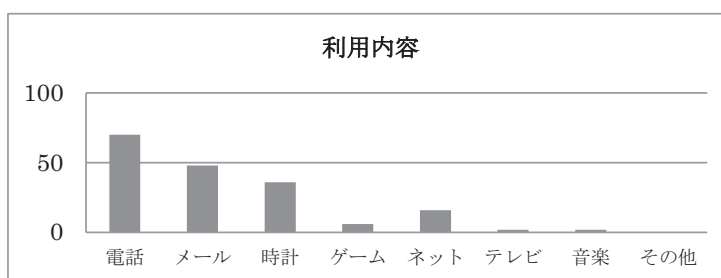
1) 持っている

はい	いいえ	無回答
84	26	6



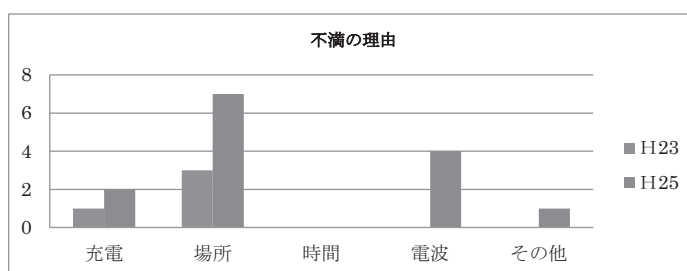
2) 利用内容

電話	70
メール	48
時計	36
ゲーム	6
ネット	16
テレビ	2
音楽	2
その他	0



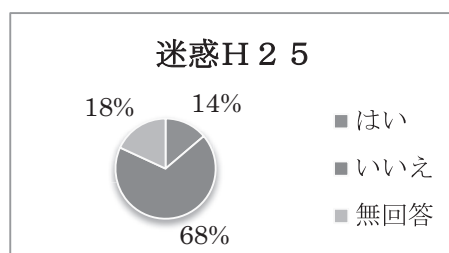
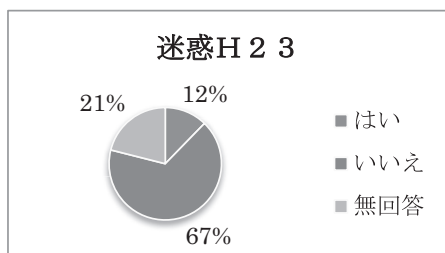
3) 不満理由

	H23	H25
充電	1	2
場所	3	7
時間	0	0
電波	0	4
その他	0	1



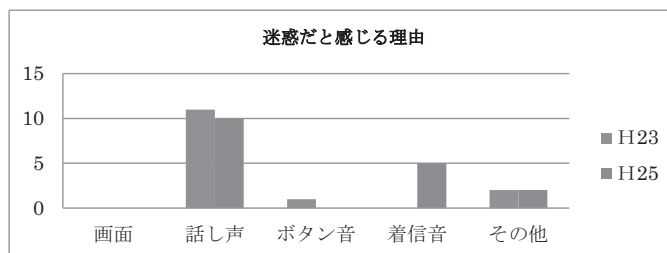
4) 迷惑

	H23年度	H25年度
はい	14	16
いいえ	76	79
無回答	24	21



5) 迷惑と感じる理由

	H23	H25
画面	0	0
話し声	11	10
ボタン音	1	0
着信音	0	5
その他	2	2

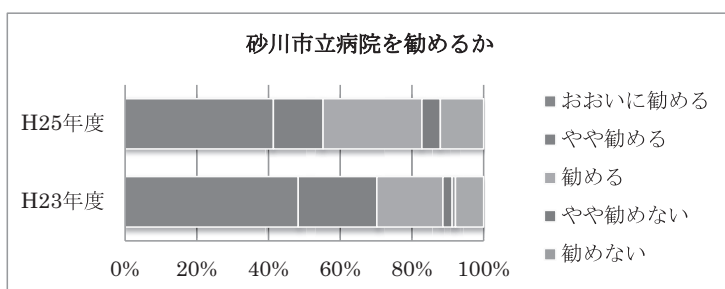


携帯電話については、H23年、H25年とも会話の内容や話し声は気になる。

しかし、不満理由が充電と場所であることから、携帯電話の使用マナーや充電に関する規定などを検討する必要がある。

15 砂川市立病院を勧めますか

	H23年度	H25年度
おおいに勧める	55	48
やや勧める	25	16
勧める	21	32
やや勧めない	3	6
勧めない	1	0
無回答	9	14



Ⅲ. 考察

患者満足度調査の結果は、2 施設・入院環境については大きな変化は見られていない。8 入院についてビデオの閲覧が15%（平成23年度）から9%（平成25年度）と減少している。昨年、QC活動において「入院案内ビデオの活用について」取り組み、アンケートを各

病棟に配布し、ビデオ活用について調査するが「見せる機会がない」「口頭で済ませてしまう」「操作が面倒」などの理由が主だった事を考えると、病棟での取り組みが低いことがわかる。ビデオを活用することは、患者サービスの一環として、病棟全体に浸透させていく働きかけが今後必要と考える。その他の項目ではセキュリティーカードについてのご意見で、「家族にも持たせてほしい」

という。時間外手続きやインターホンを鳴らしてもすぐでない等の理由も添えられていた。休日も平日同様の面会時間の制限が必要である。10 看護職員について、11 医師について、12 その他の職員については苦情内容が多く見られたが、感謝の声もあった。院内で行っているご意見箱の意見と似ている部分もあるが、各部署で返答・検討されている為、看護師に関するものは他部署でも内容を共有し改善していく事が必要とされる。13 ホームページについては、大半が満足していないことが分かった。ホームページの検討が必要であり、市民がホームページで知りたい内容や、病院が市民に伝えたいことを都度更新することが望まれている。14 携帯電話は平成25年度より新たに設けた質問項目である。携帯電話の使用頻度が高く、使用のマナーに関する意見「話し声や着信音が気になる」、その他、充電・場所・電波等の問題もある為、病院全体で問題解決できるよう検討が必要である。

患者満足度調査を同じ質問でH23年度・H25年度と実施しているが、患者がどのような事に満足しているのか、どのような事に不自由しているのか、問題を明らかにすることができた。患者のニーズが多種多様化する中で看護師として取り組んでいかなければならない課題も多くある。アンケート結果から抽出された課題を元に、検討・工夫・改善していくことが求められている。繰り返し調査を実施することで、患者の満足度向上の取り組みの効果が把握できる。更に具体的に対策が検討されることで、患者満足度の充実に図りたい。

IV. まとめ

患者満足度調査が有効に実施・検討されるためには、①実施方法や調査内容項目の検討②継続的な実施・検証が必要である。

2013年度 学術・学会活動記録

Academic publication 2013

【内 科】

◆学会・研究会発表

1. 中空知圏の将来の医療のあり方を考える～砂川市立病院はどうあるべきか～
(第13回北海道病院学会 札幌市 6月)

小熊 豊

2. Elsberg症候群を呈したヘルペス髄膜炎の一例
(第270回北海道地方会 札幌市 2月)

佐藤 謙伍

3. 造影剤腎症との関連が疑われたネフローゼ症候群の1例
(空知医師会集談会 砂川市 12月)

中村 順一

【循環器内科】

◆学会・研究会発表

1. 心基部のバルーンリングを呈した逆たこつぼ型心筋症の1例
(第110回日本循環器学会北海道地方会 札幌市 11月)

前川 聡

2. たこつぼ型心筋症の1例
(空知医師会集談会 砂川市 12月)

後藤 秀輔

【外 科】

◆学会・研究会発表

1. メシル酸イマチニブ投与後に腹腔鏡補助下に治癒切除した直腸GISTの一例
(第19回北海道内視鏡外科研究会 函館市 6月)

菊地 弘展

2. 抗血小板剤内服中に生じた胆嚢出欠出血の1例
(空知医師会集談会 砂川市 12月)

杉山 昂

【脳神経外科】

◆学会・研究会発表

1. 各種脳疾患に対する神経内視鏡の役割
(第71回日本脳神経外科学会北海道支部会 札幌市 9月)

南田 善弘

【形成外科】

◆学会・研究会発表

1. 高濃度ガベキサートメシル酸塩（レミナロン）による皮膚潰瘍の治療経験
（第9回札幌形成外科研究会 函館市 10月）

加藤 慎二

【心臓血管外科】

◆学会・研究会発表

1. 炎症性腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の1治験例
（空知医師会集談会 砂川市 12月）

坂本 沙織

【泌尿器科】

◆学会・研究会発表

1. 壮絶な人生を歩んできた2人の腎移植患者～腎移植と精神疾患（措置入院と保護入院）～
（第33回北海道腎移植談話会 札幌市 11月）

柳瀬 雅裕

2. 壮絶な人生を歩んできた2人の腎移植患者2例のその後
（第12回札幌腎不全治療懇話会 札幌市 11月）

柳瀬 雅裕

3. TURPにおけるデュタステリド術前投与の検討
（第391回日本泌尿器科学会北海道地方会 札幌市 1月）

松木 雅裕

4. 根治的前立腺摘除術後の難治性腹圧性失禁に対して人工尿道括約筋植込術（AMS-800）を行った2症例
（空知医師会集談会 砂川市 12月）

山本 卓宜

5. AI-Ghorab ShuntとIntracavernous Tunneling法で改善を認めずQuackles法による近位シャント術を施行した虚血性持続勃起症の1例
（空知医師会集談会 砂川市 12月）

松木 雅裕

【救急科】

◆学会・研究会発表

1. 救急医と感染症～Subspecialityとしての感染症の重要性～
（第37回北海道救急医学会学術集会 札幌市 11月）

下嶋 秀和

2. 圧挫傷に血行感染をきたしたUTI sepsisの1例
（空知医師会集談会 砂川市 12月）

杉村浩二郎

【看護部】

◆学会・研究会発表

1. 周手術期における患者の口腔ケアへの認識
(第13回北海道病院学会 札幌市 6月)

宮城 綾香

2. 腹膜透析患者会、活動の振り返りと外来看護師の役割
(第24回北海道腹膜透析研究会 札幌市 8月)

山越真由美

3. 災害における病院間相互支援協定の取り組み—道内自治体病院4病院支援看護師派遣体制の構築を目指して—
(日本災害看護学会第15回年次大会 札幌市 8月)

根本まり子

【放射線部】

◆学会・研究会発表

1. Gd-EOB-DTPA造影MRIとのfusion画像を利用した肝GSAシンチにおける区域別uptake算出の試み
(第52回全国自治体病院学会 京都 2013.10.17)

河崎 一仁 石川 剛 藤井 一輝
森井 秀俊 株式会社A Z E 大淵 新

2. ECG-Gated SPECTによるQGSを用いた心機能解析値の基礎的検討
(第23回日本心臓核医学会総会・学術大会 東京 2013.6.28)

石川 剛 藤井 一輝 河崎 一仁
森井 秀俊 菅井 衣代

3. 早期AD診断支援システムVSRADを用いたアルツハイマー型認知症における内側側頭部の萎縮度の基礎的検討
(第41回日本放射線技術学会秋季学術大会 福岡 2013.10.17)

【検査部】

◆学会・研究会発表

1. 当院における緊急輸血の現状と取り組み
(第88回北海道医学検査学会 北見市 9月)

谷越 悠那 及川このみ 下嶋 秀和
新崎 人士

2. 頸動脈球部に可動する模様エコー像を認めた1例
(第88回北海道医学検査学会 北見市 9月)

荻野 優喜 菅井 衣代 吉野 伸昭
酒井 絵理 渋谷 雅之 関 隆史

3. 血液培養からCampylobacter jejuniを検出した症例
(第52回全国自治体病院学会 京都市 10月)

齋藤 志穂 松浦 由佳 横内 好之

【リハビリテーション部】

◆学会・研究会発表

1. 肺合併症を伴った頸髄損傷の一症例～全身状態増悪に伴う病院連携と理学療法情報提供について～1
(北海道理学療法士会平成25年度空知支部第2回症例検討会 岩見沢市 2月)

浅野 孝弘

【看護専門学校】

◆掲載論文

1. 北海道における看護師養成所看護教員の勤務実態と蓄積的疲労調査＜前編＞調査概要および勤務実態の結果と考察. 看護教育55 (7) : 614-621.

長谷川美由紀 (深川高等看護学院)

戸田 悦子 (砂川市立病院附属看護専門学校)

濱本 瑞穂 (滝川高等看護学院)

2. 北海道における看護師養成所看護教員の勤務実態と蓄積的疲労調査＜後編＞教員自身が自律的な資質の向上に取り組むための課題. 看護教育55 (8) : 760-765.

戸田 悦子 (砂川市立病院附属看護専門学校)

長谷川美由紀 (深川高等看護学院)

濱本 瑞穂 (滝川高等看護学院)

◆学会・研究会発表

1. 看護学生のリフレクシオンプロセスに焦点をあてた授業プログラムの検討
(日本看護学教育学会第23回学術集会 仙台市 8月)

和田 裕子 舛田由美子

2. 北海道における看護師養成所看護教員の勤務実態と蓄積的疲労調査
(北海道看護教育施設協議会空知地区会研修会 砂川市 10月)

戸田 悦子 濱本 瑞穂 長谷川美由紀

3. 北海道における看護教員の資質の向上に影響を与える主観的要因についての検討
(北海道看護教育施設協議会総会 札幌市 6月)

戸田 悦子 濱本 瑞穂 長谷川美由紀

砂川市立病院医学雑誌投稿規定
(Journal of Sunagawa City Medical Center)

I. 医学関係論文

1. 本誌に掲載する論文は、砂川市立病院職員及び本誌に掲載を希望する関係者の投稿するものとする。
2. 投稿論文は原著、症例報告、総説、診療研究、その他の研究活動からなり、他誌に未掲載のものとする。
3. 掲載論文の採否及び掲載順位は編集委員会で決定する。
4. 論文形式

- a) 原稿の記述の順序は以下の通りとし、それぞれの番号のところで改頁する。
 - ①和文表紙：和文の表題、所属、著者名の順に記載する。
 - ②和文要旨：400字以内の要旨を記載する。
 - ③5語以内のKey Words (英語) を記載する。
 - ④英文でタイトル、所属、著者名を記載する。
 - ⑤本文 {はじめに 材料と方法 結果 考案} の順に記載
 - ⑥文献
 - ⑦図、表及び図・表説明
 - ⑧投稿総字数を表紙下部に手書きで明記

5. 論文の書き方

- a) 原稿は和文の場合、原著、総説 8,000字以内とする。又フロッピー (3.5インチ) /MO/CD/USBでの提出の際には以下の点に注意して下さい。
 - ①パソコン (Windows) の場合は、ワープロソフト (MS word) を使用することを希望します。それ以外のアプリケーションを使用するときはTEXT形式で本文を保存すること。
 - ②手書き原稿は受け付けません。
 - ③文字と改行だけで単純に棒打ちして下さい。
- b) 英文では必ずパソコンを使用し、ワープロソフト (MS word) を使用するか、それ以外のアプリケーションを使用するときはTEXT形式で本文を保存すること。1行おき28行以内で枚数は和文と同様とする。人名、地名などの固有名詞はなるべく源字を用い、最初の1字のみ大文字とする。また普通名詞は全部小文字とする。必ずnative speakerの校正を受けてください。
- c) 数字は算用数字を用い、度量衡は国際単位系 (SI) で記載する。
- d) 論文にて繰り返される語は略語を用いても差し支えないが、初出の時は完全な用語を用いることを明記する。
- e) 図 (写真を含む)、表は別紙とし、図1、図2、あるいは表1、表2のように番号を付け、挿入箇所を明記する。写真は原則として白黒とし、手札サイズで印画紙に焼き付けたものとする。又必ずデジタルデータで提出してください。カラー図・表を希望する方はカラーにて印刷し (最低1440dpiの出力を有するプリンターを使用)、同時にデジタルデータ化してください。同時にカラー図掲載の希望を委員会までお知らせください。画像の目安としては 原寸で約300dpiの解像度相当で取り込み、JPG形式で保存して下さい。
- f) 論文本体、図 (写真を含む) 及び表は1セットプリントし、提出して下さい。
- g) 引用文献

- ①文献は本文中において引用のつど番号 (1)、2)、3) のように算用数字で) をうち、末尾に引用順に一括する。
- ②雑誌の場合～著者名. 論文名. 雑誌名 巻 (号) : 頁, 発行年 (西暦).

【著者1名】

- 1) 谷藤順士：皮膚疾患の臨床. 臨床皮膚 12(4) : 745-752, 1990.
- 2) Hawkey C.J. : COX-2 inhibitors. Lancet. 353(9149) : 307-314,1999.

【著者2名以上】

- 1) 小林広幸 他：慢性関節リウマチ患者にみられた腸の潰瘍性病変. 胃と腸 26(9) : 1247-1256, 1991.
- 2) Stillman M.J. et al : Desmoplastic malignant melanoma. Int J Pathol. 24(5):28-35, 1989.

外国誌は、Index Medicusの略誌名

邦文誌は、「醫學中央雑誌収載誌目録」(医学中央雑誌刊行会) による略名を使用する。

- ③単行本の場合～著者名. 書名. 版. 頁, 発行所, 発行地, 発行年.

【単行本】

- 1) 小野江為則. 電顕腫瘍病理学, 第2版. 153-173, 南山堂, 東京, 1986.
- 2) Murphy GP :Advances in cancer research, 2nd ed. John Wiley and Sons, New York,1990.

【単行本の1章】

- 1) 川端 真 血管縫合の実際, 浜野哲男他(編) : 脈管外科. 医学書院, 東京, 1990.
- 2) Heyes RB. et al: Histologic markers in primary and metastatic tumors of the liver. : Andreoli M, Monaco Feds. The tumor of the liver,140-150,Elsevier Science Publishers, New York,1989.

- ④オンライン資料の場合～著者名. 題名. サイト名 (URL). 最終アクセス日.

【例】岸田典子, 高下恵美, 藤崎誠一郎, 他. 国内のインフルエンザ流行株の抗原性, 遺伝子系統樹解析および薬剤耐性株の検出状況—2011/12シーズン途中経過.

(<http://www.nih.gov/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/1716-pr3862-1.html>). Accessed 2012 July 20.

II. 業績について

学会活動録 (地方会、総会、その他研修会=院外での集会での発表) は筆頭演者. 演題. 学術集会名. 日時. 場所. 掲載論文は、著者全員. 論文名. 掲載雑誌名. 巻 : 頁—頁, 発表年 の順に記載し、編集委員会にフロッピー (3.5インチ) /CD/USB/院内メール等での提出をすること。

III. 投稿、編集などに関する問い合わせは下記とする。

〒073-0196

北海道砂川市西4条北3丁目1番1号

砂川市立病院 医学雑誌編集委員会 (事務局 研修管理室)

TEL(0125)54-2131(2041)

編集後記

2015年砂川市立病院医学雑誌第28巻を編集し、この度発刊することができました。

2014年度は、当院の経営形態が地方公営企業法の一部適用から全部適用へ変更となるとともに、小熊豊病院事業管理者、平林高之院長の体制となる変革の年となりました。

今後につきましても当院の活動状況を当院医学雑誌にて綴るとともに、研究発表、論文作成などをすべての職員が向上心を持って取り組んで参ります。

砂川市立病院 医学雑誌編集委員会

委員長 柳 瀬 雅 裕

編集委員会

委員長	柳 瀬 雅 裕				
副委員長	岩 木 宏 之				
委員	孰 賀 愛 子	高 野 美 奈 子	加 藤 幸 代		
	倉 島 弘 道	坪 田 浩 未	光 畑 幸 美		
	白 川 和 樹	荒 岡 尚 徳	大 山 千 尋		
	工 藤 誠 也	佐 藤 大 作	東 恩 納 佑 輔		
	阿 部 雅 和	小 柳 貴 敬	及 川 佑 介		
	森 田 一 巳	大 辻 誠 司	戸 田 悦 子		
事務局	森 田 康 晴				

砂川市立病院医学雑誌 第28巻 第1号

2015年1月30日 印刷・発行

発行人 平林 高之

発行所 砂川市立病院
北海道砂川市西4条北3丁目1番1号

印刷所 広小路印刷(株)
北海道滝川市一の坂町西3丁目1番31号